

タヒチヌイトラベル発

TAHITI NUI TRAVEL

タヒチプチ情報

2013年8月23日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。

みなさん、こんにちは。

本日は、タヒチ島の大きな植物公園「JARDIN BOTANIQUE」(ジャーダンボタニック または英語名で ボタニカルガーデン)のご紹介をします。

「JARDIN BOTANIQUE」は1919年、Harrison Smith(ハリソン・スミス)というアメリカ人植物学者により、タヒチ島の首都パペーテより約51km離れた PAPEARI(パペアリ)という土地に併設されました。



もともと当時はタヒチ島に存在しなかった植物も多く、海外(アメリカ、アジア、アフリカなど)の熱帯地方より取り入れ、少しずつ植物園を作り上げていきました。

植物園で見ることのできる植物のほんの一部をご紹介します。





「JARDIN BOTANIQUE」には 200 歳を超える(推定)ガラパゴスゾウガメが飼育されています。



1930 年頃、ガラパゴスから船乗りによってタヒチに 2 頭のカメが渡ってきました。タヒチに上陸した当時すでに推定 100 歳を超えていたそうです。



営業時間 : 毎日 9 時 00 分 ~ 17 時 00 分

※祝日はお休み

皆様のお越しをお待ちしております。